

国宝を再発

ぜひ、映画館であなただけの“アニメの国宝”を発見してください。

Aプログラム＝川本喜八郎5作品合計80分、Bプログラム＝岡本忠成5作品
 提供：WOWOWプラス 配給：チャイルドフィルム 宣伝：ブレイタイム
 公式サイト： https://www.wowowplus.jp/anime_kamisama23/ Twitter：@anime_kamisama



*Kihachiro
Kawamoto*



*Tadanari
Okamoto*

前売鑑賞券(2回券)2600円絶賛発売中!



Aプログラム

川本喜八郎

KIHACHIRO KAWAMOTO
(1925年1月11日～2010年8月23日)

1925年東京・千駄ヶ谷生まれ。旧制横浜高等工業学校(元横浜国立大学)建築学科を卒業。1946年、東宝撮影所美術部勤務。フリーとなって1951年、劇作家の飯沢匡らと共に人形芸術プロダクションを設立し、本格的に人形制作を始める。持永只仁作品の人形作りにも携わりながら、1963年にはチェコにわたりイジー・トルンカに師事する。1968年、第一作『花折り』を発表。日本の古典に取材した題材で独自の表現を確立し、NHKの人形劇『三国志』など人形美術作家としても幅広く活躍。国内各賞の他、海外映画祭でも多数受賞。



◆ 第29回毎日映画コンクール大藤信郎賞



詩人の生涯

A Poet's Life

(1974年・19分) © 有限会社川本プロダクション

原作:『詩人の生涯』安部公房 製作・演出:川本喜八郎
アニメーション:川本喜八郎、見米豊、石川隆男 音楽:湯浅譲二
撮影:田村実

工場を解雇された青年は仲間を励ますビラを配る。老母は、内職の糸車に紡がれて糸となりジャケツに編まれてしまう。冬、工場の門前で凍り付いていた青年の雪像に母のジャケツがかぶさった。甦った時、青年は突然自分が詩人である事に気付く。

◆ ママイヤ国際アニメーション映画祭銀のペリカン賞



花折り

Breaking of Branches is Forbidden

(1968年・14分) © 有限会社川本プロダクション

原作:壬生狂言『花折り』より 人形・脚本・演出:川本喜八郎
アニメーション:川本喜八郎、及川功一 声の出演:黒柳徹子
音楽:小森昭宏 撮影:吉岡謙

桜が美しく咲きはこる境内に、留守番を申し付けられた小坊主がひとり。外を通りかかった大名・太郎冠者の酒盛りに惹かれてイタズラをするうちに、見事に酔いつぶされて桜の枝を持っていかれてしまう。そこへ住職が帰ってきて...

◆ 第31回毎日映画コンクール大藤信郎賞

◆ ロンドン映画祭優秀作品選定

◆ アヌシー国際アニメーション映画祭

エミール・レイノー賞&観客賞

◆ キネマ旬報ベストテン文化映画部門第2位



道成寺

Dojiji Temple

(1976年・19分) © 有限会社川本プロダクション

原作:『安珍清姫』より 人形・脚本・演出:川本喜八郎
アニメーション:川本喜八郎、尾崎良、峰岸裕和、大向とき子 音楽:
松村慎三 撮影:田村実

熊野参詣の旅を続ける若い僧は、一夜の宿を願い出る。その家の未亡人は僧に一目ぼれするが、信心深い僧はこれを拒み、帰りに迎えにくると嘘をついて出立してしまう。約束した日に戻らない僧に裏切られたと知るや、未亡人は蛇に姿を変え僧の後を追う。

◆ 第27回毎日映画コンクール大藤信郎賞

◆ アヌシー国際アニメーション映画祭審査員推奨

◆ メルボルン映画祭特別賞



鬼

The Demon

(1972年・8分) © 有限会社川本プロダクション

原作:『今昔物語』より 人形・製作・演出:アニメーション:川本喜八郎 演奏:(三味線)鶴澤清治、(尺八)山口五郎 音楽:
鶴澤清治 撮影:吉岡謙、田村実

「今昔物語」の中の「狐師の母鬼になりて子を噉(く)はむと擬するものがたり」に想を得た作品。寝たきりの母の世話をする2人の息子。彼らは鹿わなを仕掛けるために、夜遅くに森へと向かう。森の中で、人ではない何かに襲われた二人は胸騒ぎを覚え母が待つ家へと急ぐ。そこで二人が見たものとは?

◆ ヴァルナ国際アニメーション映画祭グランプリ

◆ オタワ国際アニメーション映画祭審査員特別賞

◆ 第30回メルボルン映画祭特別賞

◆ シカゴ国際映画祭佳作



火宅

House of Flame

(1979年・19分) © 有限会社川本プロダクション

原作:能『求塚』より 人形・脚本・演出:川本喜八郎
アニメーション:川本喜八郎、峰岸裕和、大向とき子、吉田悟、秦泉寺博
語り:観世静夫(八世鏡之丞) 音楽:武満徹 撮影:田村実

旅の僧が生田の里にあるという求塚を探して歩いていると、ひとりの里女が塚まで案内してくれ、そのいわれを語り始める。ふたりの男に求愛された菟名日処女(うないおとめ)は、どちらも傷つけるに忍びず、入水して死を選ぶ。それを知った男たちは己を責め、悲しみ、お互いに刺し合って相果てる。だが、処女は死してもなお地獄の炎に焼かれ続ける。

Bプログラム

岡本忠成

TADANARI OKAMOTO

(1932年1月11日～1990年2月16日)

大阪府豊中市生まれ。大阪大学法学部卒業、一旦就職した後、日本大学芸術学部映画学科に編入学。日本の人形アニメーションの礎を築いた持永只仁のMOMプロダクションに入社。1964年に株式会社エコーを設立。その後、木彫、和紙、毛糸、皮、粘土などの素材、フォークソングや童謡などの音楽、義太夫節や岩手弁などの語りを用いた多様な手法と表現で、民話世界や社会風刺など多彩な作品を作り続け、文化庁芸術祭大賞をはじめ国内外で多数受賞。没後、その功績に対して毎日映画コンクール特別賞が贈られた。



◆ 第32回毎日映画コンクール大藤信郎賞



虹に向って

Towards the Rainbow

(1977年・18分) © 株式会社エコー

原作:大川悦生 演出:岡本忠成 脚本:永倉薫平、東川洋子、岡本忠成 アニメーション:藤森誠代、峰岸裕和、秦泉寺博、大向とき子、横田由美子 語り:岸田今日子 作曲:歌:及川恒平
撮影:田村実

源次とおりつは、信濃の国の深い谷に隔てられた2つの小さな村でそれぞれ育ったが、川を挟んで向き合ううちに、いつしか惹かれ合うようになっていた。ある日、川に架かる虹に誘われるように川下におり、二人は初めて会うことができた。あの虹のように村を結ぶ橋を作ろう、そう誓い合い、建設費を工面するため身を粉にして働くのだった。

◆ 第26回毎日映画コンクール教育文化映画賞

◆ キネマ旬報ベストテン文化映画部門第2位

◆ 教育映画祭学校教育映画部門最高賞

◆ 東京都教育映画コンクール銀賞



チョコタン

ぼくのおよめさん

Sweet Little Chiko

(1971年・11分) © 株式会社学智研究社 株式会社エコー

演出:岡本忠成 脚本:岡本忠成、坂間雅子、来道子、田村実
作曲:南安雄 作詞:蓬萊泰三 歌:西六郷少年少女合唱団
アニメーション:真賀理文子、秦泉寺博、及川功一 撮影:吉岡謙、田村実

チョコタンが好きな訳をあれこれ考え、子供ながらに気持ちのやり場に悩む“ぼく”。さらに家が魚屋だから、魚の嫌いなチョコタンにふられてしまう。そこで、エビとカニとタコの好きなチョコタンのために、それだけを売る魚屋にしようというアイデアで、見事チョコタンからOKをもらうのだが、思いがけない不幸が待ち受けていた。

◆ 第46回毎日映画コンクール大藤信郎賞

◆ 文化庁優秀映画作品賞

◆ 教育映画祭最優秀作品賞・文部大臣賞

◆ 広島国際アニメーションフェスティバル
カテゴリーG 第2位



注文の多い料理店

A Well-Ordered Restaurant

(1991年・19分) © 株式会社桜映画社 株式会社エコー

原作:宮沢賢治 脚本・演出:岡本忠成 監修:川本喜八郎
音楽:廣瀬量平 作画:奥山玲子、阿部信子、秦泉寺博、鈴木伸一 撮影:高橋昭彦、中出三紀夫

狸に出たのはいいが、山奥で道に迷ってしまった二人のハンター。霧の中、二人は「山猫軒」という西洋料理店にたどりつく。一息つけると二人は安堵するが、店内に入るや「身なりをきれいにしてください」や「銃と弾をおいてください」などの細かい注文を次々と要求される。



サクラより

愛をのせて

Sakura Yori Ai Wo Nosete

(1976年・3分) © 株式会社エコー

作・演出:岡本忠成 語り:桂朝丸 アニメーションデザイン:
吉田悟 作画:東川洋子 撮影:田村実
※本作の修復版は国立映画アーカイブ所蔵オリジナルネガより作成いたしました。

満員電車の中でふんぞりかえって足を組んでいる男。汚い靴の裏が他人の服に当たって汚している。そこで登場したのが花束を抱えたグラマーな中年のオバちゃん。電車が曲がり角に差し掛かるとオバちゃんは男の上に倒れかかる。オバちゃんは、男をいじめるいろんな仕掛けを隠し持っていた。

◆ 第37回毎日映画コンクール大藤信郎賞

◆ キネマ旬報ベストテン文化映画部門第1位

◆ 日本映画ペンクラブ文化映画部門第1位

◆ 動物愛護映画コンクール優秀賞



おこんじょうるり

The Magic Ballad

(1982年・26分) © 株式会社桜映画社 株式会社エコー

原作:さねとうあきら 脚本・演出:岡本忠成 アニメーション:藤森誠代、長崎希 人形:保坂純子、阿彦よし子、佐野吉紀、語り:
声:長岡輝子、小野寺かほる 唄:曾我マミ 作詞:東川洋子
作曲・演奏:高橋祐次郎、堅田善三久、中川善雄 作画:仕上:
横坂千鶴子、柳本孝子、黒田直美 撮影:田村実、伊丹邦彦

東北のある村に、イタコの婆さまがひとり住んでいた。ある夜、腹を減らした狐が山から迷い込んできた。婆さまは今まで散々狐をいじめてきた罪滅ぼしにと、家中の食べ物を狐に食べさせようとするのだった。狐はその恩返しにと、浄瑠璃を歌い始める。